



広島工業大

# 廿日市活性化へアイデア



大学院2年

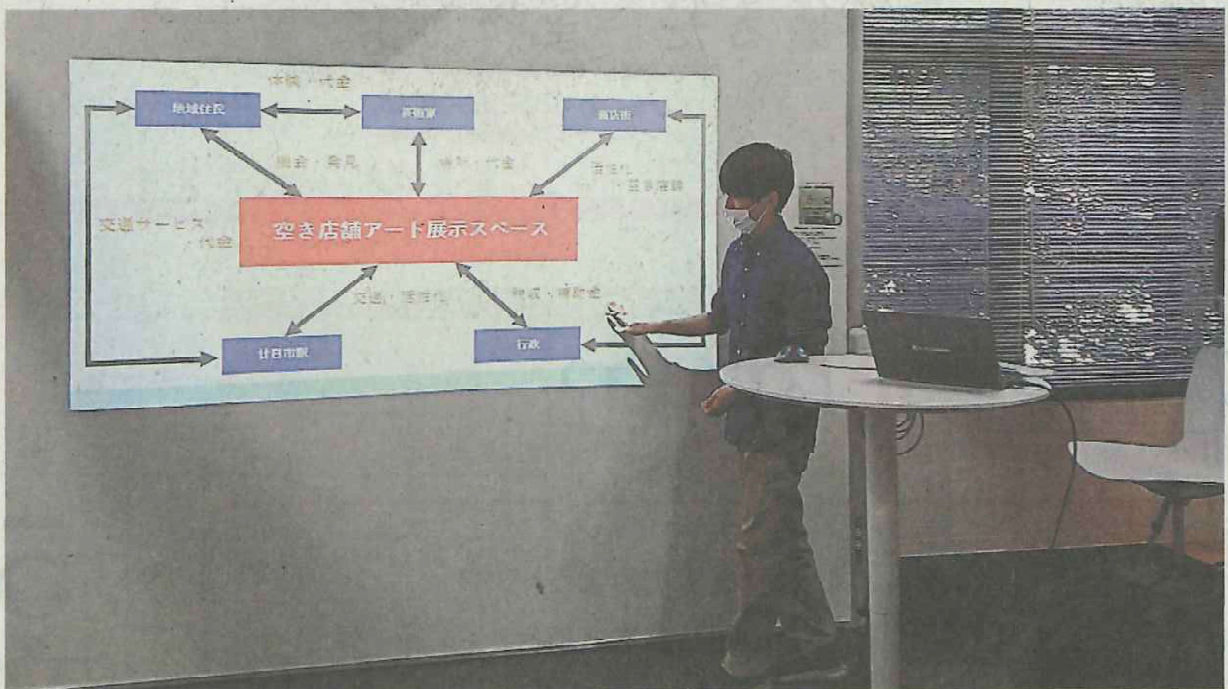
手島慶祐

広島工業大(広島市佐伯区)で、地域活性化のためのビジネスプランの発表会があった。情報コミュニケーション学科の2、3年生4人が廿日市市の地域資源を生かした商業の活性化案を提案した。地域課題解決実習の授業の一環で、4人は街を歩いて地元の人から話を聞き、地域が抱える課題を調査した。廿日市市の農業の現状や商店街の空き店舗に着目し、活性化案

## 4人、地域資源の活用提言

を発表した。

情報コミュニケーション学科2年の諸隈友輔さん(20)は、空き店舗を活用してアートを展示するアイデアを発表。空き店舗の所有者に賃料が支払われる上、アートをみるために人が集まり、商店街の活性化につながると期待した。発表後にはアイデアの実現性について参加者全員で意見交換した。諸隈さんは「現地調査を通して、ニュースなどで知る課題が身近にあることを実感し、驚いた」と振り返っていた。



廿日市市の活性化案を発表する学生